

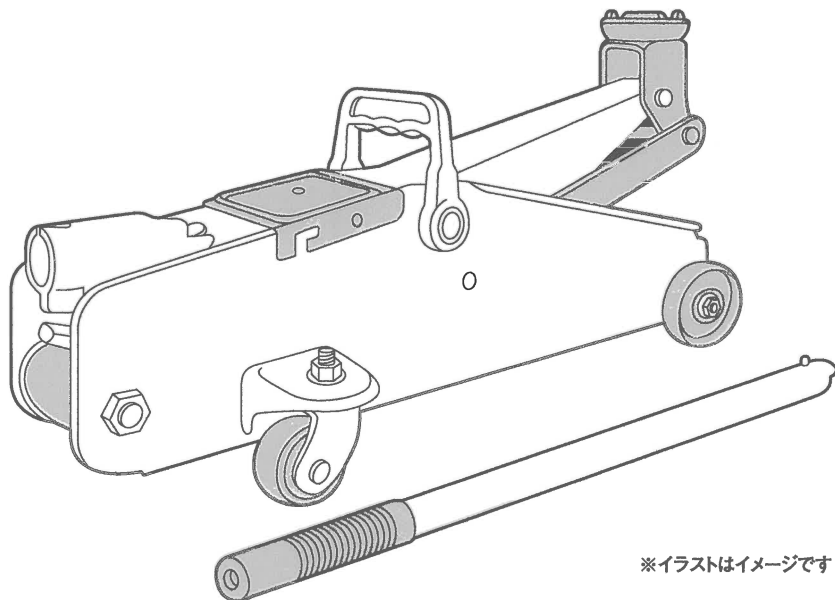


2T 油圧ジャッキ

KG07-0840

取扱説明書

このたびは、2T油圧ジャッキをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用の際には必ずこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。



※イラストはイメージです

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、表示や図記号の内容をご理解
 いただいてから本文をお読みになり、正しく安全にお使いください。

器具を使う際には取扱説明書をすべて読み、説明書の記載どおりに使ってください。
 製品の目的以外の使い方をすると、人身事故や財物損害の原因となるおそれがあります。



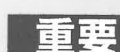
危険 「死亡や重傷を負う危険がある
 内容」を示しています。



注意 「けがや財産に損害を受けるお
 それがある内容」を示しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがあ
 る内容」を示しています。



重要 「非常に重要な内容」を示して
 います。

- 用途 本製品は自動車のタイヤ交換、タイヤチェーン脱着や整備の際に自動車をジャッキスタンドなどで保持させるため
 に、ジャッキアップまたはジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。本製品はジャッキアップ状態での洗車
 作業には使用できません。

危険

重要

ジャッキアップした状態のまま車体
 の下には絶対に入らないでください。

ジャッキを設置する際は、使用中に絶
 対にジャッキが外れない部分に設置し
 てください。ジャッキアップしている
 対象物を破損させたり、対象物が落下
 するなどの危険性があります。

ジャッキアップした車両の下へ手、足、
 身体を入れないでください。ジャッキ
 アップした状態のまま保持させる場
 合は、必ずジャッキスタンドを使用し
 てください。

警告

重要

取扱説明書をよく読み充分理解した
 上で使用してください。
 本書には重要警告事項の説明が記載
 されています。警告に従わずに使用し
 た場合、重大な事故につながります。

ジャッキを改造したり本来の用途以外
 の目的で使用しないでください。

自動車をジャッキアップおよびジャッ
 キダウンする際は自動車の下に人や
 物などがいないことを確認してから作業
 を行ってください。

ジャッキに異常が発生した場合（オイル
 漏れ、フレーム変形など）、使用を
 中止して、異常箇所の修復を完全に行
 うまでジャッキを使用せず、直ちに販
 売店までご連絡ください。そのままご
 使用になった場合、重大な事故につな
 がる危険性があります。

オーバーロードバルブ（安全弁）は出
 荷時に安全荷重に調整されています
 ので調整などは絶対に行わないでくだ
 さい。

本製品でジャッキアップする際は、必
 ず事前にフロアジャッキ用のジャッキ
 ポイントの位置を確認してください。（ジ
 ャッキポイントの位置は車種によって
 異なりますので、詳しくは自動車メー
 カーへお問い合わせください。）

ジャッキアップやジャッキダウン中に
 ジャッキアップした物に振動や力を加
 えたりしないでください。

本製品は平滑で強固な地面でのみご
 使用ください。傾斜地や凹凸のある
 地面、軟弱な地面では使用しないでく
 ださい。

ジャッキは2台以上同時に使用しない
 てください。

ハンドルを使用しないときは必ず、ハ
 ンドルスリーブを外してください。

ジャッキの持ち運びやジャッキダウン
 する際に、フレームなど可動部分で指
 などを挟まないようにしてください。

電子制御サスペンション車は、必ず自
 動車の添付のマニュアルを確認して
 からジャッキアップ作業をしてください。

注意

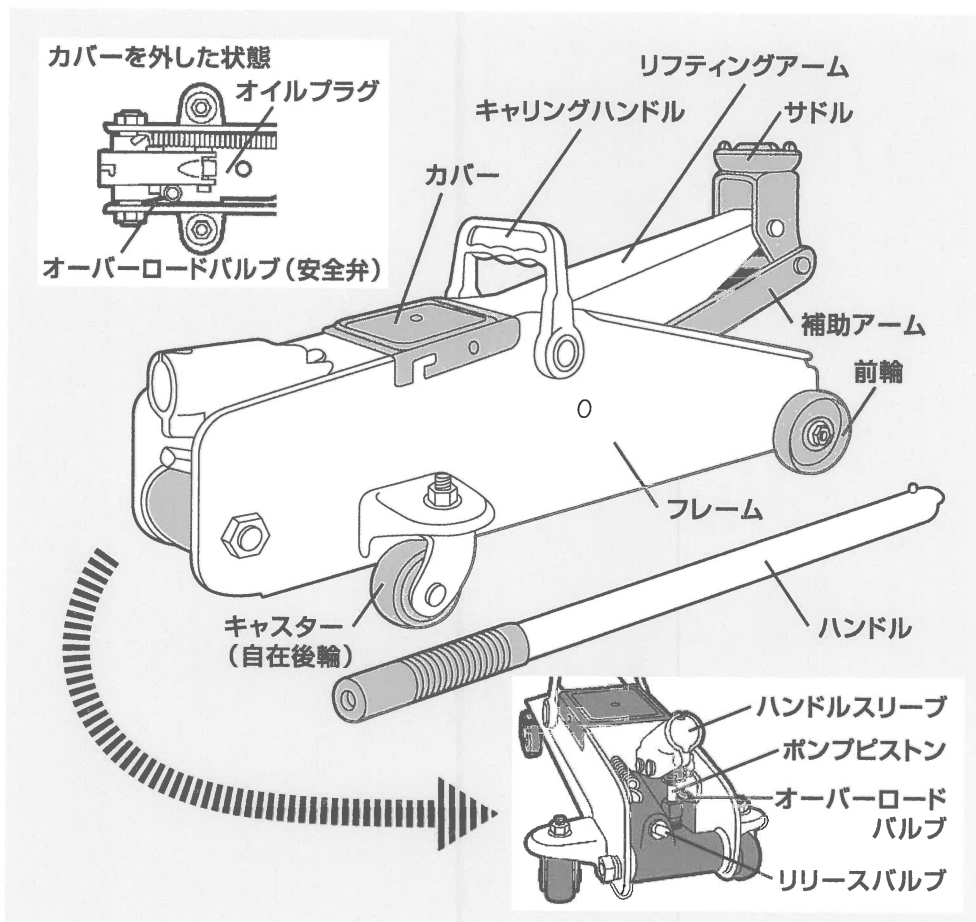
重要

本製品の能力（2t）以上の負荷で使
 用しないでください。

必要以上に対象物をジャッキアップし
 ないでください。

本製品は-10℃～60℃の範囲の温
 度環境で使用してください。

各部の名称



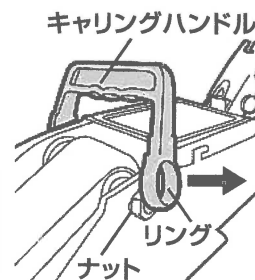
※イラストはイメージです

キャリングハンドルの取り付けかた

キャリングハンドルの片側のリングをナットにはめ込み、反対側を図のように引っ張りながら、もう片方のリングをナットにはめ込んでください。取付後は少し持ち上げて軽くゆすり、キャリングハンドルが外れないことを確認してください。

△ 注意

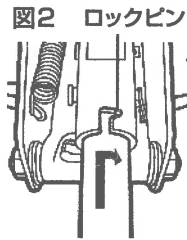
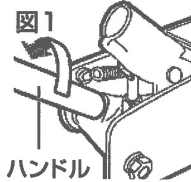
キャリングハンドルで持ち上げている状態で、ゆすったり、斜めに持ち上げたりしないでください。本体からキャリングハンドルが外れ、ジャッキが足の上などに落下する恐れがあります。



ご使用方法

ジャッキアップ

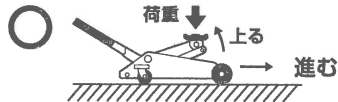
1. 平坦で堅い地面にジャッキを置き、ジャッキポイント※の位置を確認してサドルをセットしてください。
※ジャッキポイント: 車体下部にあるジャッキのサドルを当てるための適切な箇所 (ジャッキポイントは車種によって異なりますので自動車に添付のマニュアルや自動車メーカーに確認するなど、事前に確認してください。)
2. ハンドルの先端をリリースバルブに差し込み、時計方向に回してリリースバルブを締めます。(図1 参照)
※リリースバルブの締め付けが不十分な場合、ジャッキアップしなかったり、下がってきたりしますのでしっかりと締めてください。
3. ハンドルをハンドルスリーブへ差し込んでください。
※操作中にハンドルが抜けないようにハンドル先端のロックピンがハンドルスリーブの溝に正しくセットされているか確認してください。(図2 参照)
4. ハンドルを上下に動かし、サドルをジャッキポイント付近まで上昇させた後に、一度停止させて荷重の中心がサドルの中央にかかることを確認してください。(図3 参照)
5. 確認後ハンドルを上下一杯に動かして、目的の高さまでジャッキアップしてください。



警告

傾斜地や地面が軟弱な場所、および平坦でない場所では使用しないでください。ジャッキが傾いたり、サドルが外れて自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険があります。また傾斜地ではジャッキアップ中に自動車が動き出して重大な事故につながります。

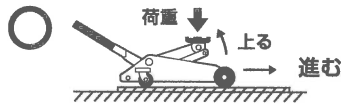
強固な地面(可)



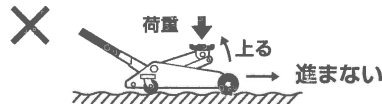
柔らかい地面はめり込んで進まない(不可)



鋼板等の強固な板を敷いた場合(可)



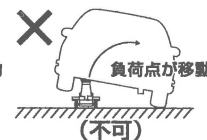
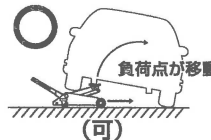
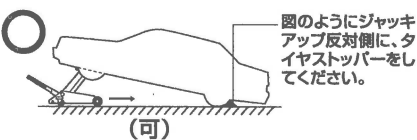
凹凸な地面は前へ進まない(不可)



傾斜した場所や勾配のある道路では使用しないでください。



ジャッキの昇降に合わせてジャッキの車輪が回転し、ジャッキが下図の矢印の方向に移動していることを確認してください。ジャッキが移動しない場合、ジャッキポイントからサドルが外れ、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。※下のイラストは、サドル上昇時の移動方向です。下降時は矢印の方向と逆の方向へ移動します。



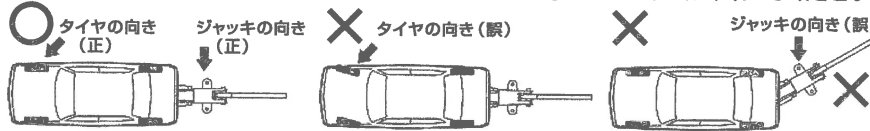
サドルを上昇させて、サドルが車体に当たった時点で一度停止させて、サドルが車体のジャッキポイントの正しい位置(荷重の中心がサドルの中央にかかる位置)にセットされていることを確認してください。セットする位置がずれていた場合、車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

警告

自動車メーカーの指定するジャッキポイント以外では、ジャッキアップしないでください。車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

ジャッキアップの際は自動車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐに入れてください。ジャッキの向きが斜めになっている状態でジャッキアップした場合、サドルがジャッキポイントから外れ自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。

車のタイヤは、車の直進方向にして、ジャッキを車に対してまっすぐに入れてください。



注意

荷物や人を乗せたままではジャッキアップしないでください。エンジンをかけたままではジャッキアップしないでください。

ジャッキアップは自動車のサイドブレーキをかけ、シフトはロー(A/T車は[P]パーキング)の位置で作業をしてください。

ジャッキアップする際は必ずタイヤストッパーなどの車輪止めを使用してください。

ハンドルの上下操作はハンドルをしっかり握って操作してください。ジャッキに異常が発生した場合、ハンドルがはね上ったり急に操作が軽くなることもあり、けがをする可能性があります。

自動車メーカーの指定するフロアジャッキ用のジャッキポイント以外ではジャッキアップしないでください。車体に変形したり、荷重バランスの崩れにより重大な事故につながります。

電子制御サスペンション車は、必ず自動車に添付のマニュアルを確認してからジャッキアップ作業をしてください。

一定の高さで保持する場合

ハンドルの上下動作を停止するとサドルが自動車を保持したままの状態になります。

危険

ジャッキアップした状態のまま車体の下には絶対に入らないでください。車体の下に入って作業をする場合は必ずジャッキスタンドなどを使用してください。

ジャッキアップした状態のまま自動車を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。

注意

ジャッキアップ作業中はリリースバルブに触れないでください。

ジャッキアップ作業しないときは、ハンドルをハンドルスリーブから取り外してください。

ジャッキダウン

ハンドルの先端をリリースバルブに差し込み、反時計方向にゆっくりと回すとリリースバルブが緩み、サドルが下降します。(図4 参照)



図4

危険

リリースバルブを急激に締めないでください。サドルが急激に降りるため、自動車が落下し使用者が死亡したり重傷を負う危険性があります。

注意

ジャッキダウンする際に、フレームなど可動部分で指などを挟まないように注意してください。

リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上締めないでください。オイル漏れや故障の原因になります。

作業が終了したら

作業が終了したらサドルやリフティングアーム、フレーム、可動部分などに付着した泥、オイル、グリース、水滴などの汚れをきれいにふき取ってください。

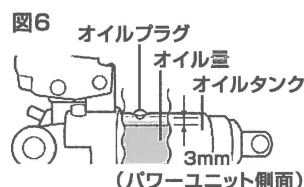
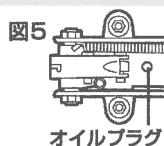
お手入れのしかた

ジャッキのお手入れ

1. ジャッキを使用しないときは錆などによる動作不良を防止するため、リフティングアームおよびポンプピストンを最下位の位置に下げておいてください。
2. ジャッキは常に清潔にして、可動部分に時々注油してください。
3. オイル量を定期的に確認し、オイルの量が減少している場合は適量を補充してください。
(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
4. 頻繁にご使用になる場合や長期保存の場合は、最良の状態を保持するために約1年毎にジャッキオイルを交換してください。(下記ジャッキオイルの補充および交換 参照)
5. 保管する際は、錆や動作不良などの故障の原因になりますので雨や雪がかかる場所や湿度の多い場所には保管しないでください。

ジャッキオイルの補充および交換

1. オイルプラグをプライヤーなどで外して(オイルプラグを挟みながら引っ張ると外れます)リリースバルブを緩めます。(図5 参照) ※リリースバルブは完全に締めた状態から1回転以上緩めないでください。
2. オイルプラグの穴を下に向けて古いオイルを排出してください。
3. ほぼ完全にオイルを排出した後、ジャッキオイルをオイルプラグの穴に注入してください。またオイル注入中にゴミなどが入らないように注意してください。
4. ジャッキオイルの適正量は、ジャッキを水平な場所へ置き、リフティングアームおよびポンプピストンを最下位まで下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約3mmの空間を設けた位置です。(図6 参照)
5. サドルが途中でしか上がらないときは、ジャッキオイルの不足が考えられますので、ジャッキオイルを適正な量まで補充してください。
6. 作業終了後はオイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押込みながら指で押さえると簡単に取り付けることができます。



注意 重要

火気のある場所、またはその近くでオイル補充および交換をしないでください。

ジャッキオイルの量が適正量より多かったり少なかつたりした場合、サドルが途中でしか上昇しません。必ずリフティングアームを最下位に下げた状態でオイルプラグの穴から油面まで約3mmの空間を設けてください。(図6 参照)

ジャッキオイルは指定されたもの以外は使用しないでください。エンジンオイルやその他のオイルは粘度が異なるため動作不良の原因になりますので絶対に使用しないでください。

作動油 | ジャッキ用オイル (ISO VG10)

エア抜き方法

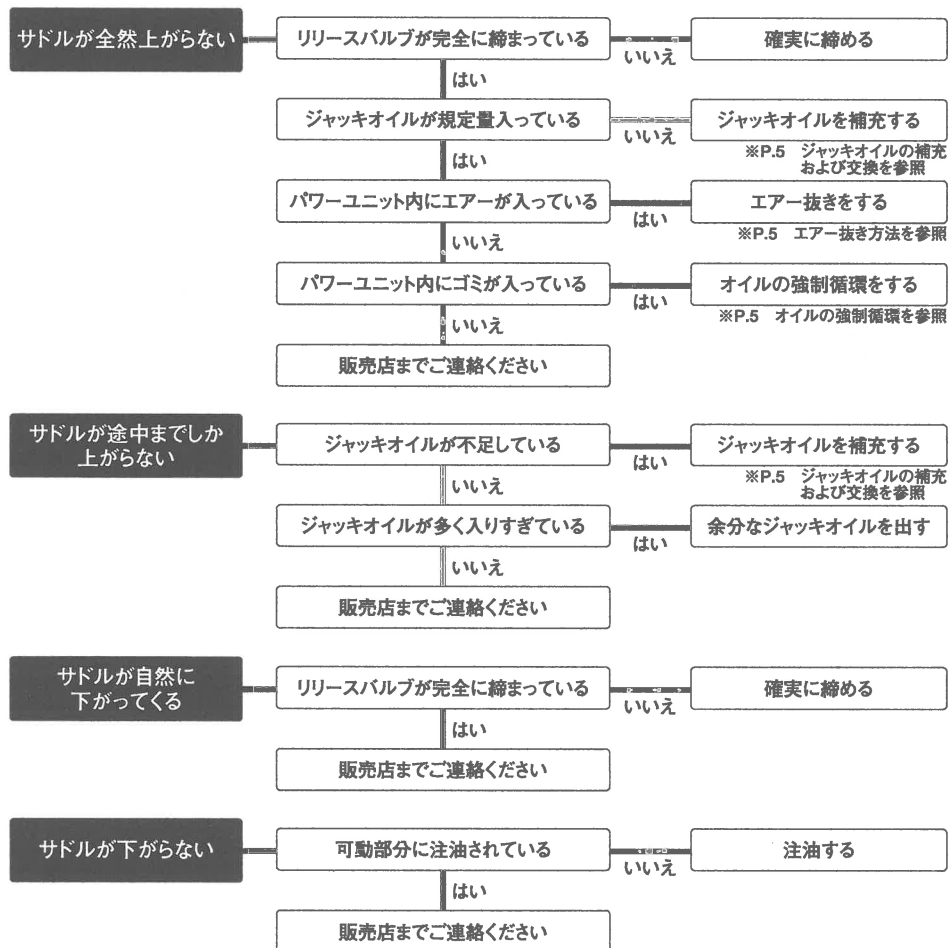
1. ジャッキを水平な場所へ置き、リリースバルブを緩めてください。
2. オイルプラグをプライヤーなどで取り外してください。
3. ハンドルスリーブをすばやく10回程度ポンピングしてください。この動作をすることによりパワーユニット内部に入っていたエアが抜けて正常に動作します。
4. オイルプラグを取り付けてください。マイナスドライバーなどで端の部分を押込みながら指で押さえると簡単に取り付けることができます。

オイルの強制循環

1. ジャッキを水平な場所へ置き、リリースバルブを緩めてください。
2. 前輪のシャフトに足をかけ、手でリフティングアームを最高位まですばやく引き上げてください。
3. 2の動作を数回繰り返します。この動作をすることによりパワーユニット内のゴミが強制的にオイルタンク内に移動します。オイルタンクに設けられたゴミ除去ネットによりゴミが再びパワーユニット内に戻ることはありません。

修理を依頼する前に

修理をご依頼される前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、次の点検をしてください。



仕様

品番	KG07-0840
品名	2T 油圧ジャッキ
最大荷重(約)	2000kg
最高位(約)	385mm
最低位(約)	135mm
揚幅(約)	250mm

本体サイズ(約)	(L)515X(W)195X(H)140(mm) (キャリングハンドルを除く)
本体質量(約)	10.2kg
ハンドル長(約)	502mm
使用環境(約)	-10℃～60℃
作動油	ISO VG10

※予告なく仕様変更する場合がありますので予めご了承ください。

●保証書●

この保証書とお買上価格のレシートを保管してください。
お買上レシートの日付から365日間保証致します。
レシートがない場合は保証致しかねますので予めご了承願います。

保証内容

1. 取扱説明書・本体注意ラベルに従っての正常なご使用により、万一、故障が生じた場合は、本保証書により無償で修理致します。
2. 保証期間が過ぎた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理致します。
3. 保証書は再発行致しませんので大切に保管願います。
4. 保証期間内でも二次的に発生する損失の補償および、次の場合は有償となりますのでご了承願います。
 - 使用上の誤り・メンテナンス・保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
 - 不当な改造や修理による故障および損傷。
 - お買上後の輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 指定された純正部品を使用されなかった時に起因する故障。
 - 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変あるいは外部要因による故障および損傷。
 - 保証書(レシート)の提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

レシート貼付欄

保証期間(本体)	お買い上げ日より365日間
お買い上げ年月日 年 月 日	
機 種 2T 油圧ジャッキ KG07-0840	
※●お客様	ご住所 <input style="width: 100%;" type="text"/>
	電話 ()
	お名前 様
※●販売店	住所・店名・電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

輸入販売元 **コーナン** 商事株式会社
大阪府堺市西区鳳東町6丁637番地1

© 10-09 MADE IN CHINA